

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 岐阜県ヘルスケア産業推進ネットワーク事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 成長産業係

電話番号：058-272-1111 (内3744)

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,100 千円 (前年度予算額：1,100 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,100	1,100	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,100	0	0	0	0	0	0	0	1,100
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県は、自動車や航空機の分野で培った高度なモノづくり技術を有する県内モノづくり企業等を対象に「ヘルスケア（医療福祉機器）」等の成長産業分野への新規参入・事業拡大の促進を図っている。

今般の新型コロナウイルス感染症の影響により県経済は大きな打撃を受けており、県内事業者の事業継続、経済再生に向けた支援と同時に、アフターコロナを見据えた新たな事業展開支援の両面で取組みを進めなくてはならない。

特にヘルスケア産業は、不況や社会的な混乱に対する影響が小さく、確実に成長していく分野と言われている一方、新規参入には医療現場ニーズを得るなど取組み実績のない企業には障壁が高い。このため、医療・福祉・健康分野の関連団体と県内モノづくり企業の接点が必要である。

(2) 事業内容

新型コロナウイルスと共生する「新たな日常」等への対応が求められている中、医療・福祉・健康分野のニーズを把握・課題解決に向けたヘルスケア産業の創出を図るため、県が設置した「岐阜県ヘルスケア産業推進ネットワーク（以下、ネットワークという。）（※1）」により、医療、福祉、健康分野の関連団体と、県内モノづくり企業等との連携の場を提供する。

① 医療・福祉・健康分野技術動向誌

- ・医療・福祉・健康分野の最新動向や薬機法等の解説及び、各大学や機関の取組等をネットワーク登録者に情報提供（※発行：4回）

② アドバイザー設置（会議）

- ・ヘルスケア産業の業界動向や県施策やネットワークの取組に対する助言や意見交換する場となる会議を開催（※会議開催：1回）

③ 情報発信（HP・メルマガ等）

- ・ネットワーク登録者へ情報発信（※HP：随時、メルマガ：1回）

- (※1) 医療、福祉、健康分野の関連団体と、県内モノづくり企業等との連携による課題の解決及び新たなビジネス機会を創出するネットワーク。ヘルスケア関連の情報の発信・共有等を推進。

(3) 県負担・補助率の考え方

成長産業分野における企業支援事業であり、積極的に推進する必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	126	アドバイザー謝金
旅費	44	費用弁償
需用費	2	会議費
委託費	928	技術動向誌委託料
合計	1,100	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県では、成長産業分野である「医療福祉機器分野」に対して、重点的に支援を図ることとしている。

(2) 事業主体及びその妥当性

産業振興および医療現場等の課題解決に資する本事業を、県が実施することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルスと共生する「新たな日常」等への対応が求められている中、県が設置した「岐阜県ヘルスケア産業推進ネットワーク（以下、ネットワークという。）」を活用し、医療、福祉、健康分野の関連団体と、県内モノづくり企業等との連携する場を提供し、医療・福祉・健康分野のニーズを把握・課題解決に向けたヘルスケア産業の創出を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						達成率
ネットワーク登録者数（累計）	0者	78者 (R2-R3累計)	85者 (R2-R4.10累計)	108者 (R2-R5累計)	132者 (R2-R7累計)	64%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	9月1日にヘルスケア産業推進ネットワークを設立し、9月16日にアドバイザー会議を開催した。ネットワークの新規登録者数は68者であり、登録者に対してメルマガを9件（臨時号含む）配信した。
令和3年度	8月5日にポータルサイトを開設し、11月25日にアドバイザー会議を開催した。ネットワークの新規登録者数は10者（累計78者）であり、登録者に対してメルマガを19件（臨時号含む）、技術動向情報誌3号を配信した。
	指標① 目標： <u>80者</u> 実績： <u>78者</u> 達成率： <u>97.5</u> %
	令和6年度当初予算にて追加
令和4年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>依然として新型コロナウイルスにより影響が大きい医療・福祉・健康分野の関係団体等が抱える課題とモノづくり企業等が得意とする技術等をマッチングし、「新たな日常」に対する製造業の新分野への進出、新たなビジネス・チャンスの創出に向け、県が支援する必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>概ね目標どおりに新規登録者が増加している。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>県産業経済振興センターと連携しながら、新規登録者の周知ならびにマッチング支援を実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 単年度では、ネットワークを活用した持続的なマッチング・取組が期待できないため、取組・支援を継続する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降も、ネットワークを活用し、医療・福祉・健康分野の関連団体と、県内モノづくり企業等との連携の場を提供し、新たな需要に対する課題解決や新たなビジネス機会の創出する支援を持続的に実施する必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	